県大会(全チームへ)

〇大会前にHPを必ず確認して準備されて下さい。
〇筆記具とチームプレートは各チームで準備。
〇初日の開場時刻及びスタートは会場ごとに異なります。
〇会場ホストチームの指示、連絡をよく聞いて行動されて下さい。
〇【帯同審判】22日の〈小山〉までとなります。16以上は指名審判。
〇勝敗は必ず決します。(延長は2分あけて3分の延長戦ファール継続。決するまで)
(同点は必ず延長)※試合は5分×4Qです。最終日のみ6分。
〇男女初日同率が生じた場合

・三角で同率が3チーム→フリースロー(5人の合計)→サドンデス
・四角で対角が同じ勝率→5分×2Qの決定戦となります。

(通常の３・４クォーターと考える。(ベンチと逆側攻撃向きでトスアップ)ただし、個人ファールは２回している状態(３回目から)とする。

・(4チーム1勝1敗の同率の場合はフリースローによって決する)

〇エントリー規定による不成立でも試合はおこないます。(4人しか揃わない場合、試合は行いません)
※(ただし、その試合は人数により、試合時間を短く、クォーター数を減らす場合があります)
〇指導者は初日会場で、ライセンス証をストラップにいれ会場主任へ見せて下さい。
万が一忘れた場合は、デジタルを提出。
※この時にメンバー、スタッフの変更なければ、変更なしと、会場主任へ伝える。
(インティグリティに則り(誠実、真摯、高潔)報告されて下さい。)
・会場主任は指導者のライセンスのみチェックされて下さい。チームの選手チェックはそのチーム指導者でチェックし、報告されて下さい。
〇バルーンやメガホンの応援は認めます、音の大きさに気をつけて下さい。
(ラッパや太鼓、笛などの楽器は認めません)ベンチはバルーンやメガホンは認めない

※落下物は絶対にあってはなりません。バルーン、メガホンの落下物があった場合、以後大会途中でも使用は禁止とする)

〇フリースロー時の妨害行為は認めません。 静かに見守って下さい。ベンチも観客席も。
※試合時応援の足踏みも禁止　(観客席も妨害行為は禁止。)
〇音量機器を用いたアップは、他のチームが不快に感じない音の大きさであること。
(アップしている他のチームに必ず確認されてからスイッチを入れて下さい)
〇健全なバスケット環境を目指して(HP)を必ずお読み下さい。
〇マンツーマン基準規則に則りプレーします

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/U15mandf_Leaflet_20230401.pdf

〇ライブ配信、SNS等に関する注意事項は要項の通りです。
〇駐車場台数は会場により異なりますので、注意されて下さい。
※駐車券について、HPにある指定された駐車券を使用します。
〇会場により駐車券が必要な場合があります。チャットにてご確認下さい。

〇責任をもって小さいお子さまから、目を離さないで下さい。１人にさせない。
〇靴の管理を各チームで行う。（会場の靴箱に入れない）
〇ごみの持ち帰りを行う。（会場のごみ箱に入れない）忘れものはチームで取りに来る。
〇チームドクターは、自チームのベンチ横に待機、選手への指示は禁止です
　ただし、負傷者の救護に対する声かけなら大丈夫です
　※チームドクターもストラップを首から下げて下さい

捕捉
・メンバー、スタッフ変更は、男女それぞれ初戦試合の1時間前までに会場主任へ。

・会場に到着した監督者は、ライセンス証を会場主任へ提示します、メンバー表に変更があれば、この時に提出。（会場主任の負担を軽減）

〇オフィシャル裏には必ずオフィシャル理解者を1名配備されて下さい。
〇大会参加基準に沿って参加または、辞退を判断されて下さい。

【資料 1】

2019/2/28 版

8 人以上による試合成立と交代について

■通知内容

試合成立のプレーヤー数の変更

・登録された競技者が 10 名未満のチームに対して、8 名による試合成立を認める。

・但し、登録数が 10 名を超えるチームに対しては、これまで通りの規程を適用する。

・2019 年 4 月 1 日から実施とする。

■導入の背景

これまで、ゲームにより多くのプレーヤーが出場できることを目的として、1 試合に 10 人以上のプレーヤーが出場することを規則としてきました。しかし、近年では少子化や児童数の減少などにより、地域で 10 人以上のプレーヤーを集めることができないチームも見られるようになってきました。

このため、これまでも一部の大会等では、普及を目的としてプレーヤーが 10 人未満のチームでも出場できるように配慮されてきましたが、改めて競技規則においても、8 人以上による試合成立を認めることとしました。

このルールは少子化などの理由でどうしても 10 人以上のプレーヤーを集めることができないチームを救済することを目的としており、強化的な考え方のもとに、意図的に 10 人未満の競技者登録を行うことは、普及の考え方に反するものです。

■実施時期と変更内容について

(1) 実施時期

・8 人以上による試合成立は、2019 年度より、すべての大会で適用する。

(2) 出場と交代に関するミニバスケットボール競技規則の新旧対照表

旧）ミニバスケットボール競技規則	新）ミニバスケットボール競技規則
第 23 条　出場と交代 各チームのプレイヤーのうち 10 人以上は、少なくとも 1 クォーター(6 分間)はゲームに出場しなければならない。 （以下、交代に関する記述は下に移動） また、第 3 クォーターまでに 10 人以上のプレイヤーが少なくとも 1 クォーター以上、2 クォーターをこえない時間だけはゲームに出場していなければならない。	第 23 条　出場と交代 **【出場について】** **登録競技者が 10 人以上のチームは、**各チームのプレーヤーのうち 10 人以上は、少なくとも 1 クォーター(6 分間)はゲームに出場しなければならない。 また、第 3 クォーターまでに 10 人以上のプレーヤーが少なくとも 1 クォーター以上、2 クォーターをこえない時間だけはゲームに出場していなければならない。 **登録競技者が 10 人以上のチームは、10 人未満で大会にエントリーすることはできない。** **登録競技者数が大会エントリー数の上限を超えるチームは、大会エントリー数の上限に満たない人数のプレーヤーで大会にエントリーすることはできない。** **10 人以上で大会エントリーしたチームが、大会当日に 10 人未満のプレーヤーしか試合に出場できなかった**

	場合、試合は不成立とする。 **登録競技者が 8 人以上 10 人未満のチームは、第 3 クォーターまでに全てのプレーヤーが少なくとも 1 クォーター(6 分間)はゲームに出場しなければならない。その際、プレーヤーは第 3 クォーターまでに続けて 3 クォーター出場してはならない。**
やむをえずクォーターの途中で交代があった場合、それまで出場していたプレイヤーも交代して出場したプレイヤーもその 1 クォーターを出場したものとみなされる。	やむをえずクォーターの途中で交代があった場合、それまで出場していたプレーヤーも交代して出場したプレーヤーもその 1 クォーターを出場したものとみなされる。 **8 人または 9 人で大会エントリーしたチームが、大会当日にエントリー数に満たない人数のプレーヤーしか試合に出場できなかった場合、試合は不成立とする。**
第 1 クォーターから第 3 クォーターまでの間は、クォーター・タイムとハーフ・タイムのときのみ交代することができる。 第 4 クォーターと延長時限にタイム・アウトがあったときにはどちらのチームもプレイヤーを交代させることができる。 ただし、フリースローの前にタイム・アウトがあったとき、特例として最後のフリースローが成功した場合のみ、シューターの交代を認める。	**【交代について】** 第 1 クォーターから第 3 クォーターまでの間は、**プレーのインターバル**とハーフタイムのときのみ交代することができる。 **第 4 クォーターと延長時限では、次のときにどちらのチームもプレイヤーを交代させることができる。** **・タイムアウトがあったとき** **・審判が笛を吹いてゲームクロックが止まったとき** **・ファウルの後は審判がテーブルオフィシャルに伝達を終えたとき** **・最後のフリースローが成功したとき**

(3) 補足

① 自チームのプレーヤーが 10 人以上いる場合は、対戦相手のチームのプレーヤーが 10 人未満であっても、これまで通り 10 人ルールが適用されます。
② 「登録競技者」とは、チームが当該年度において(公財)日本バスケットボール協会に登録している競技者を指します。大会に登録(エントリー)したプレーヤーではありません。
③ プレーヤーの出場時間をコントロールするため、交代は第 4 クォーターと延長時限に限ります。
④ 多くのプレーヤーが出場できることを目的に、タイムアウト以外での交代も認めます。
⑤ 交代は、交代するプレーヤーが自分でスコアラーに申し出てください。

以上